

常陸大宮市(ひたちおおみやし)

	〒 319-2292 〈住所〉常陸大宮市中富町3135番地の6 〈TEL〉0295-52-1111 〈FAX〉0295-53-5415 〈HP〉http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/ 〈e-mail〉soumu@city.hitachiomiya.lg.jp	地域指定 過疎(一部区域) 辺地(一部区域) 山振(一部区域) 特定農山村(一部区域)	法人番号 6000020082252	一部事務組合加入事業 退職手当 消防費しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 農業共済 し尿 ごみ	公営企業 法適用(上水) 法非適用(公共下水) 農業集落排水 特定地域生活排水 宅造
	面積 348.45 km ² 類型 I-1 地方公共団体コード 082252				

<行政組織>

①長等(平成29年5月1日現在)

長	みつぎ しんいちろう 三次 真一郎 (68歳)	任期	平成32年4月22日
		就任回数	3期目
副市長	綿引 義久		

②議会(平成29年5月1日現在)

議長	高村 和郎	副議長	小森 敬太郎
任期	平成30年8月5日	条例定数	20人
現議員数	20人		
党派別	公明2人, 自民1人, 共産1人, 無所属16人		

③職員数(平成28年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
494	444	295	50
一般行政職の平均給料月額	3,198 百円	ラスパイルズ指数 96.0	地域手当補正後ラス指数 96.0
全職員数の推移	平成25年4月1日 523	平成26年4月1日 514	平成27年4月1日 501

④機構図(平成29年4月1日現在)

〈市長〉-〈副市長〉-
政策審議室 - 秘書広聴課, 企画政策課

すぐ対応課

総務部 - 総務課, 財政課, 税務徴収課

地域創生部 - 地域創生課, 山方支所, 美和支所, 緒川支所, 御前山支所

市民生活部 - 市民課, 市民協働課, 生活環境課, 安全まちづくり推進課

保健福祉部 - 医療保険課, 健康推進課
| 国保美和診療所, 国保緒川歯科診療所
福祉事務所 - 社会福祉課, こども課, 介護高齢課

産業観光部 - 農林振興課, 商工観光課

建設部 - 都市計画課, 土木建設課

上下水道部 - 水道課, 下水道課

〈会計管理者〉- 会計課

〈消防長〉- 消防本部 - 総務課, 警防課, 予防課
東消防署, 西消防署

〈議会〉- 議会事務局

〈監査委員〉- 監査委員事務局

〈農業委員会〉- 農業委員会事務局

〈教育委員会〉- 教育長 - 教育委員会事務局 - 学校教育課, 生涯学習課, 文化スポーツ課

〈行政委員会〉
選挙管理委員会, 公平委員会, 固定資産評価審査委員会

<概要>

①沿革

平成16年10月16日 編入
山方町 美和村 緒川村 御前山村
平成16年10月16日 市制施行

②地勢・風土等

常陸大宮市は、茨城県の北西部、八溝山地及び阿武隈山地の南端部に位置し、面積は348.45km²である。東に久慈川、南に那珂川が流れ、市の面積の約60%を山林が占める。
先人たちが作り上げた自然や歴史、文化、地域の絆などかけがえのない財産・つながりを大切にし、「ふるさと常陸大宮」を次の世代、そして未来へとつないでいくため、「郷育立市」の考えを踏まえ、「人が輝き 安心・快適で 活力と誇りあふれるまち」を目指している。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成29年4月1日)	
	平成17年	平成22年	平成27年		
人口	男	23,297	22,141	20,953	20,532
	女	24,511	23,037	21,634	21,105
	合計	47,808	45,178	42,587	41,637
世帯数	16,029	16,087	16,005	16,065	

④有権者数(平成29年3月2日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 33.4%
	18,555	19,014	37,569	

⑤高齢人口割合 (H29.1.1住基人口)

<産業・経済>

①生産・所得(平成26年度)

市町村内総生産	1,617 億円	就業者1人当り	7,561 千円
住民所得	1,071 億円	人口1人当り	2,492 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成26年度)		就業人口(平成27年国調)	
第1次	4,603	2.7%	2,035	10.1%
第2次	59,843	36.3%	6,314	31.4%
第3次	96,156	60.1%	11,778	58.5%
総額・総数	161,733	-	20,344	-

③農業・工業・商業

農業 (平成27年2月1日)	農家数 3,783	うち専業農家戸数 648	農業就業人口 2,556
製造業 (平成26年12月31日)	事業所数 110	従業者数 4,443	製造品出荷額等 (H26.1.1~12.31) 101,417
卸・小売業 (平成26年7月1日)	事業所数 424	従業者数 2,415	年間販売額 (H25.1.1~12.31) 65,476

④特産物

西ノ内和紙, しいたけ, 常陸秋そば, 鮎, ゆず, 清酒, 奥久慈米, 鶏卵, 自然薯, 奥久慈ねぎ, 奥久慈の枝物, 奥久慈なす, 常陸牛, 奥久慈いちご, えごま, 納豆

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成26年度決算	平成27年度決算	増減率
歳入	25,216,732	25,544,070	1.3
歳出	23,592,622	23,619,999	0.1
形式収支	1,624,110	1,924,071	-
実質収支	1,369,187	1,502,510	-
単年度収支	225,226	133,323	-
実質単年度収支	792,404	818,261	-

②主な歳入・歳出(平成27年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	25,544	-	327	1.3
地方税	4,830	18.9	△ 133	△ 2.7
地方交付税	9,103	35.6	△ 94	△ 1.0
国庫支出金	2,796	10.9	201	7.7
地方債	3,206	12.6	△ 505	△ 13.6
うち臨財債	881	3.4	△ 118	△ 11.8
その他	5,609	22.0	858	18.1
うち繰入金	142	0.6	79	125.4
歳出	23,620	-	27	0.1
義務的経費	9,975	42.2	△ 164	△ 1.6
人件費	3,786	16.0	△ 125	△ 3.2
扶助費	3,445	14.6	109	3.3
公債費	2,744	11.6	△ 148	△ 5.1
投資的経費	4,202	17.8	△ 140	△ 3.2
普通建設事業費	4,180	17.7	△ 142	△ 3.3
うち補助	1,646	7.0	△ 980	△ 37.3
うち単独	2,467	10.4	806	48.5
その他の経費	9,443	40.0	331	3.6
うち繰出金	2,937	12.4	69	2.4

③主要指標(平成27年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.81)
連結実質赤字比率	- % (17.81)
実質公債費比率	8.6 % (25.0) [7.3]
将来負担比率	25.9 % (350.0) [36.6]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成28年度)	0.435	[0.699]
経常収支比率	84.6 %	[87.6]
標準財政規模(平成28年度)	14,157 百万円	[15,219]
地方債現在高(A)	26,443 百万円	[24,424]
債務負担行為支出予定額(B)	3,717 百万円	[4,705]
積立金現在高(C)	10,186 百万円	[7,710]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	19,974 百万円	[21,420]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成27年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人(構成比)	1,763,564 (33.0)	1,673,681 (34.7)	94.9 [94.1]
市町村民税・法人(構成比)	309,838 (5.8)	306,343 (6.3)	98.9 [98.5]
固定資産税(構成比)	2,840,609 (53.2)	2,431,639 (50.3)	85.6 [93.7]
市町村税合計(国保除く)	5,340,436	4,829,962	90.4 [94.5]

<公共施設整備状況>(平成27年度) ※1は平成28年度

小学校 ※1	11 校	プール	3 か所
中学校 ※1	5 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	5 園	老人福祉施設	46 か所
保育所 ※1	11 か所	病院・一般診療所	27 か所
認定こども園 ※1	2 園	道路改良率	30.9 %
図書館	1 か所	道路舗装率	40.6 %
公営住宅	667 戸	上水道等普及率	98.8 %
公民館等	27 か所	汚水処理普及率	76.6 %
体育館	8 か所		

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
結婚祝い金支給事業	H29 ~	晩婚化が進むことによる少子化を解消するため、婚姻された方に祝い金を贈呈し、婚姻率の上昇を図る。	3
地域創生まちづくり事業	H29 ~	地域で豊かに生活し続けるため、市民と行政の協働により、地域の特性を生かした「元気なふるさとづくりビジョン」を策定し、地域振興策を推進する。	5
医師確保対策助成事業	H23 ~	市内の公的医療機関で医師として従事しようとする医学部の学生に対して修学資金を貸与し、安定的な医療提供体制の確立を図る。	20
地域ブランド・6次産業化推進事業	H24 ~	市が認証した特産品「常陸大宮さん」の販促促進のほか、農林畜水産物等の地域ブランド化や生産・販売拡大、生産者の所得向上などの6次産業化を推進する。	11
東京オリンピック・パラリンピック推進事業	H28 ~	2020年東京オリパラ開催にあたり、パラオ選手団の事前キャンプ誘致を目指す。他、市民を巻き込んだ各種交流事業を展開し、地域活性化を図る。	12

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・人口減少と少子高齢化の進行
- ・子育て支援、教育環境の充実
- ・地域産業の活性化・雇用の創出
- ・安全・安心を求める意識の高まり
- ・環境問題の深刻化
- ・協働のまちづくりと地方分権の進展
- ・社会インフラなどの老朽化
- ・情報通信技術(ICT)等の進展
- ・国際化への対応、東京オリンピック・パラリンピック、茨城国体の開催

<特色ある行政>

- ・郷育立市によるまちづくりの推進
- ・ライフステージに応じた常陸大宮を支える「ひとづくり」の推進
- ・地域の特性を生かした「まち(拠点)づくり」の推進
- ・誰もが安心して暮らせるまちづくりの構築
- ・「しごと・ものづくり」による活力の創出
- ・戦略的な魅力の発信の展開